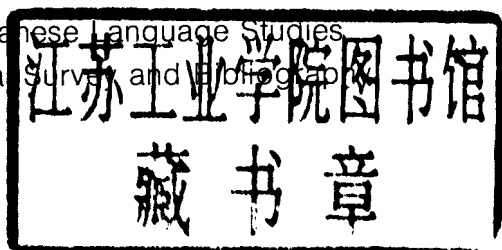


国語年鑑

1995年版

KOKUGO - NENKAN
1995

Japanese Language Studies
Annual Survey and Bibliography



国立国語研究所

The National Language Research Institute

国語年鑑 1995年版
KOKUGO-NENKAN 1995

Japanese Language Studies : Annual Survey and Bibliography

1996年1月25日 印刷

定価 8,000円

1996年1月30日 発行

(本体 7,767円)

編者

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14

電話 (03)3900-3111

発行者

株式会社 秀英出版

代表者 金森 良之

印刷者

株式会社 デンプロ

代表者 岩田 光正

〒112 東京都文京区関口1-24-4-302

発行所

株式会社 秀英出版

Tel. (03)3260-5281

Fax. (03)3260-5282

振替 00120-7-119739

UDC (058) "55" 809.56

NDC

810.5

ISBN4-7847-0095-1 C3002

この年鑑を使う人のために

1. この年鑑は、1994年1月1日から12月31日までの国語関係資料に基づき、「文献」「名簿」「資料」の3部に分けて編集した。巻末に「索引」を付けた。
2. 「文献」の刊行図書および雑誌論文は、原則として、直接もとのものに基づいて記録し、分類別に掲載した。採録した図書・雑誌の発行所一覧をそれぞれの項に続けて掲載した。

入手できなかったため、あるいは未見の故に掲載できなかったものも多いかと思われる。国立国語研究所にご連絡、ご寄贈いただければ幸いです。

なお現在、国語年鑑の編集は従来のカードによる手作業から、コンピュータによる機械処理へと、その方法を移行させつつある。今年版は、昨年に続いて第1部文献のデータを機械処理したが、試行錯誤が続いているため不備な点も多々あるかと思う。ご意見やご注意を得て、順次改善していきたい。

3. 「名簿」は、国語関係者名簿、各学会・関係諸団体の一覧等を掲載した。なお、国語関係者名簿は、国内・国外合わせて2000余名を収めた。現住所・現職は、原則として1995年5月末現在である。
4. 「資料」は、「国語審議会報告—新しい時代に応じた国語施策について」「文部省科学研究費等の交付状況」その他を収めた。
5. 巻末の「索引」は、この年鑑に収めた刊行図書・雑誌論文について、それぞれ編著者名から題目番号によって検索できるようにした。
6. この年鑑の編集は、江川 清・伊藤雅光・伊藤菊子が担当した。

目 次

第1部 文 献

刊行図書一覧	7
国 語 (学).....	8
国 語 史	11
音 声・音 韻	15
文 字・表 記	16
語 彙・用 語	18
文 法	22
文 章・文 体	25
方 言・民 俗	27
ことばと機械	32
コミュニケーション	34
マス・コミュニケーション	46
国 語 問 題	47
国 語 教 育	48
外国人に対する日本語教育	58
言 語 (学)	60
辞典・用語集	68
参 考 資 料	84
国語研究資料	88
('95年版追補)	113
採録図書発行所一覧	128
雑誌論文一覧	143
国 語 (学).....	144
国 語 史	149
音 声・音 韻	154
文 字・表 記	157
語 彙・用 語	162
文 法	171
文 章・文 体	184
古典の注釈	187
方 言・民 俗	189
ことばと機械	195
コミュニケーション	198
マス・コミュニケーション	208
国 語 問 題	210
国 語 教 育	212
外国人に対する日本語教育	217
言 語 (学)	222
参 考 資 料	233
書 評・紹 介	234
('95年版追補)	237
採録雑誌発行所一覧	245

第2部 名 簿

1. 国語関係者名簿	273
2. 各学会・関係諸団体一覧	413
3. 学術団体・審議会等における関係者氏名	423

第3部 資 料

新しい時代に応じた国語施策について〈国語審議会報告〉	427
平成6年度文部省科学研究費等の交付状況	453
受賞一覧(関係学会賞など)	481
『国語年鑑』所収「資料」一覧	485

索引(刊行図書・雑誌論文著編者名)	490
-------------------------	-----

第 1 部

文 献

(刊行図書・雑誌論文)

刊 行 図 書 一 覧

- 1994年1か年の刊行図書の文献目録を分類別に掲載した。
各文献内の記載は、題目番号・書名・(著編者)・発行所・
発行年月・判型・ページ数・定価の順である(ただし欧文学
献目録は著編者：書名への順である)。適宜、解説、目次を
記した。
- *印の刊行図書は、国立国語研究所で入手できなかったも
のである。*印のものおよび取載もれの刊行図書等につい
て、ご連絡ご寄贈いただければ幸いである。

国 語 (学) (T1~27)	8
国 語 史 (T28~47)	11
音声・音韻 (T48~52)	15
文字・表記 (T53~79)	16
語彙・用語 (T80~120)	18
文 法 (T121~141)	22
文章・文体 (T143~158)	25
方言・民俗 (T159~222)	27
ことばと機械 (T223~229)	32
コミュニケーション (T230~387)	34
マス・コミュニケーション (T388~392)	46
国 語 問 題 (T393~394)	47
国 語 教 育 (T395~534)	48
外国人に対する日本語教育 (T535~547)	58
言 語 (学) (T548~625)	60
辞典・用語集 (T626~910)	68
参 考 資 料 (T911~957)	84
国語研究資料 (T958~1309)	88
('95年版追補) (T1310~1512)	113

国 語 (学)

書 名 (著編者) 発行所 発行年月 判 ページ数 定価

◇国語(日本語)一般

- 1 * ことば 現代日本語を、もう一度見直したい (十河直樹)
岡山県方言研究会 1994-9 B6 36p
- 2 * 言葉につける薬 (呉智英) 双葉社 1994-9 B6 216p 1000円
- 3 * 言葉のうんちく辞典 ワードウォッチング (茅野秀三編)
実務教育出版 1994-12 B6 235p 1200円
- 4 * 「ことば」を生きる 私の日本語修業 <講談社現代新書> (ねじめ正一)
講談社 1994-2 B6 213p 600円
- 5 * 仁義なき日本語 (千早耿一郎) 木耳社 1994-9 B6 254p 1500円
- 6 * センスある日本語表現のために 語感とは何か <中公新書> (中村明)
中央公論社 1994-8 B40 221p 700円
- 7 * たのもしき日本語 (吉田戦車; 川崎ぶら)
角川書店 1994-1 A5 336p 1600円
- 8 * ちょっと気になることば 日本語点検 続 (矢橋昇)
七賢出版 1994-4 B6 239p 1300円
- 9 * 一寸した事 国語学随筆 (水谷静夫著刊) 1994-7 B5 100p
- 10 日本を語る <同時代ライブラリー200> (岩波書店編集部編)
岩波書店 1994-10 A6 218p 900円
現代日本と日本語を学ぶ意味 (田中克彦; 一橋大学留学生討論)
- 11 日本語研究所 (城生佰太郎) 日本実業出版社 1994-3 B6 254p 1500円
[FM 放送「ことばサウンド学」(1992.4~1993.3まで240回)で放送したものをまとめたもの]
1.日本語の語彙について考える 2.母音と子音について考える 3.プロソディーとは何か 4.歌と音を読む 5.文字と言葉について考える 6.日本語の文法を考える
- 12 日本語習得の基盤を考える *Foundations of Acquisition of Japanese* (今石元久 編刊) 1994-3 B5 104p
[平成5年度文部省科学研究費総合研究(B)「日本語社会における言語習得と教育方策に関する総合的研究」による日本語の習得基盤を考えるシンポジウムと講演。]
- 13 日本語について <同時代ライブラリー201> (大野晋)
岩波書店 1994-10 A6 9,335p 1100円
[「日本語について」(日本書籍社, 1978.11月刊)の一部を削除し,「日本の近代化と日本語」「Nobody Goes.」「日本語の将来」「日本とは何かということ」を新たに増補したもの。]
1.言葉に執する 2.言葉をたどる 3.日本語について 新聞文章の方向 漢字「読み」・「書き」の分離 「当用漢字表」と「新漢字表」試案 その思想を考える 日本の近代化と日本語 Nobody Goes. 日本語の将来 4.日本とは何かということ
- 14 * 日本語の風 (野村雅昭) 大修館書店 1994-8 B6 306p 1854円
- 15 * 日本語マルチテスト どれだけ読める? 書ける? 話せる!? 知ってトクする正しい

- 日本語。(ことばの研究舎編) 池田書店 1994-12 B6 221p 800円
- 16 日本人論 明治から今日まで(南博) 岩波書店 1994-10 A5 10,393,16p 3800円
現代(2) VIII.日本人論の発展と細分化 4.日本の言語表現 p.331-336
- 17 *渡る世間の日本語クイズ 知らなきゃ恥かく損をする〈カップ・ブックス〉(石井英夫) 光文社 1994-7 B6 226p 850円
- 18 日本語つれづれ草 南部方言・古語・共通語・文学の言葉(黒沢勉著 岩手日報社出版部編) 岩手日報社 1994-3 B6 339p 1300円
- 19 むすびの本質 日本語を通して見た(筧泰彦講演) 東京地区むすび会事務局 1994- B6 40p

[平成5年度むすび会記念講演記録]

◇国 語 学

- 20 日本語研究と教育の道(徳川宗賢) 明治書院 1994-4 A5 6,560p 11000円
[著者の退官を記念して,方言学・社会言語学・日本語教育に関連する論述・随想をまとめ選集として編まれたもの。]
- 1.日本語の地域差 2.方言をみつめて 3.ことばの調査法 4.ことばの標準 5.ことばの教育
6.日本語研究の展望 7.学会とわたし
- 21 *日本語学辞典 新版(杉本つとむ;岩淵匡編著) おうふう 1994-11 B6 314p 1900円

◇国 語 学 史

- 22 狩谷祐斎〈人物叢書〉 新装版(梅谷文夫著 日本歴史学会編) 吉川弘文館 1994-1 B6 12,291p

◇論 文 集

- 23 日本文学・語学論攷(奥津春雄編) 翰林書房 1994-2 A5 308p 12000円
四国地方の角筆文献(小林芳規) 「今昔物語集」撰者の用語選択に関する一考察「発病」を表す動詞句の改変をめぐる(青木毅) 黒川真頼の文典について 国学者と和洋折衷(近藤政行) 発表論文一覧 p.301-304 奥津春雄略歴 p.305-306
- 24 国語論攷 4 現代語・方言の研究(佐藤喜代治編) 明治書院 1994-2 A5 418p 12000円
「尻上がり」イントネーションの社会言語学(井上史雄) 述語・主語・補語をめぐる(仁田義雄) 一語文の原理と文の類型(石神照雄) 語構成論から見た語の本質と文法論から見た語の本質 文法論の場合(斎藤倫明) 上代東国方言の特殊仮名遣い(迫野虔徳) 津軽と南部のことば(川本栄一郎) 江戸時代末期の越後新発田藩の方言(佐藤武義) 方言語用論 新潟県の方言会話に即して(大橋勝男) 名古屋市アクセントの動向 1~3拍名詞38語を例に(下野雅昭) 山陰地方の風位語彙に関する一考察(室山敏昭) 形容詞多義性に見られる多義の意味分布について 形状,位置,実質を表す形容詞の場合を中心に(丹保健一) ある個人における理解語彙量の累進パターン 「分類語彙表」収載語彙を対象として(真田信治) 外来語におけるアクセント核の位置(柴田武)
- 25 森野宗明教授退官記念論集 言語・文学・国語教育(森野宗明教授退官記念論集編集委員会編) 三省堂 1994-10 A5 7,614p 18000円

書記言語としての仮名文における連体形終止法の分布とその意義 (伊坂淳一) 活用形としての動詞音便形の成立 (坪井美樹) ナナリとナメリの<判断>について (柴田敏) 「雨やめて」という他動詞用法の消失について (須賀一好) 「大鏡」の待遇表現の考察 待遇表現を決定する諸要因を中心に (金仁珠) 和歌の解釈 表現の焦点をおさえる (北原保雄) 「格」と階層 (矢沢真人) 日本語における非過去形のテンスとアスペクト (草薙裕) ル/タ形(時制形式)の基準時と、ダイクティックな時の連用成分の基準時 相対時制連体節の場合を中心に (橋本修) 動きの成立の表現における「ル」形と「タ」形 現在の表現と関連して (牟世鍾) テイル形の非アスペクトの意味 テイル形の報告性 (柳沢浩哉) 授受構文における視点と人称 (山岡政紀) <達成>のモ 所謂<柔らげ>のモ (三井正孝) 「おはながながいのね」の解釈 まど・みちお「ぞうさん」の語用論的分析 (高本條治) “吗”疑問文と反復疑問文の使用条件 (玄宣青) <ほのか>とその<類義語> 源氏物語における用例を中心に (宮武利江) 狂言記外篇とその用語 (大倉浩) 語幹末にエ列音を持つ形容詞「あまねい」型の消滅と「あぶねえ」型の誕生 (福島直恭) 「また」の語彙的意味と言語理解に果たす機能 会話資料による考察 (天野みどり) 「日本館訳語」の「漢製和語」について (蔭垂東) 延慶本平家物語における記録語交じりの会話文 (小川栄一) 複合語における促音の挿入について もう一つの連濁 (高山知明) 「日本呉音」における音韻法則 (望月真澄) 日本呉音の単母音化について (林史典) 江戸末期韻学における文雄・宣長・全斎 行著「悉曇字記真釈」を中心として (湯沢質幸) 兼載自筆「連歌延徳抄」の表記について (島田康行) 国語教育史における国語科成立の意味 (甲斐雄一郎) 言語生活主義国語教育論(西尾実)の究明 主体的真実をめぐる (桑原隆) 佐々政一「俳句の修辞」「俳諧の修辞」についての考察 (嶋島甫) 森野宗明教授年譜・著書論文目録, ほか (森野宗明)

26 研究報告集15 <国立国語研究所研究報告107> (国立国語研究所編刊)

1994-3 A5 286p 非売

基本度関数について (木村睦子; 山田雅一) 国定読本における類義語の現われ方 「うつくしい」と「きれい」 (加藤安彦) 海外のテキスト・アーカイブにおける管理・運営上の問題点について アンケート調査報告 (伊藤雅光) 国語研究所所蔵新聞記事を利用した研究について(覚え書) (井上優; 池田理恵子; 辻野都喜江) ガ行鼻音保持の傾向性と含意尺度 札幌市民調査の事例から (相沢正夫) いわゆる非分析的な否定疑問文をめぐる (井上優) 会話スタイルとラポート 日英・若い女性の座談例から (佐々木倫子)

27 日文学研究 3 (北京日文学研究中心編)

今日中国出版社 1994-1 B5 392p

<日本語> 論日語接辞 (劉耀武) 現代漢語中日語借詞の辨别和整理 (朱京伟) 試論漢日語量詞の修辞 (李庆祥) 論日語敬語の成立条件及其功能 (王秀文) 漢日疑問語氣比較 (翟東娜) 日本語の「ほかし表現」をめぐる 文法論からのアプローチ (井上優) 「なく(に)」の表現について (徐一平) 中国における日本語教授法のために (市瀬智紀)

国 語 史

書 名 (著編者) 発行所 発行年月 判 ページ数 定価

◇国語史一般

- 28 国語史論集 上〈大坪併治著作集 3〉 (大坪併治)
風間書房 1994-5 A5 4,546p 25750円
[著者が60年間に発表した50篇の論文から成り, 上・下2分冊。上巻は, 第1部 文法に関するもの24篇が収められている。]
- 29 古辞書の基礎的研究 山内潤三教授・木村晟教授学術研究奨励記念〈古辞書研究資料集成 2〉 (学術研究奨励記念刊行会編 梅田信隆監修)
翰林書房 1994-6 A5 819p 28000円
〈1. 論文・資料篇〉西大寺蔵磧砂版大般和歌經所載「内典随函音疏」(西崎亨) 「和歌初学抄」覚え書(木村晟) 華民国台北国立故宫博物院蔵「幼学指南抄」について(片山晴賢) 京都大学附属図書館蔵「幼学指南抄」(翻字)(石山曙生) 「起信論本疏聴集記」に見る「聞書」の注釈書化と古辞書の利用 大広益会玉篇逸文及び改編本系類聚名義抄逸文をめぐって(土井光祐) 陽明文庫蔵「諸雜聞書」(木村晟) 無著道忠編纂の語録辞書について(片山晴賢) 無著道忠纂輯「助字品彙」(龍華院蔵)(翻字)(渡会正純) 元禄2年板「字纂往来」について(木村晟) 元禄12年板「延命字学集」について(木村晟) 「漢和三五韻」について(木村晟) 「遊歴日本図経」の日本語彙について(木村晟) 「方言集釈」と「倭語類解」との比較研究 倭語を中心として(古田和子) 〈2. 索引篇〉西来寺蔵「法華經文字声韻音訓篇集」和訓索引(木村晟; 近藤良一; 萩原義雄; 齊藤明美; 田所裕) 叡山文庫蔵「韻字記」和訓索引(木村晟; 吉川英雄; 大塚久美子; 渡辺英一; 齊藤明美) 〈3. 翻訳篇〉「古今韻会举要の語音系統」(竺家寧氏述)邦訳試案(木村晟; 松本丁俊訳) 山内潤三教授・木村晟教授略歴・著述目録(片山晴賢; 渡会正純編)
- 30 * 古事記大成 3 言語文字篇 (久松潜一; 武田祐吉編)
平凡社 1994-6 A5 404p
[1957年刊の第2刷]
日本語の系統(服部四郎) 古事記はよめるか(亀井孝) 古事記に於ける漢字使用(河野六郎) 古事記の文章(小島憲之) 古代の言語に於ける内部言語形式の問題(佐竹昭広) 古事記の訓法(武田祐吉) 訓詁篇 上巻(賀古明) 訓詁篇 中, 下巻(田辺正男)
- 31 * 万葉集研究20 (伊藤博; 稻岡耕二編 小島憲之監修)
塙書房 1994-6 A5 343p 8549円
万葉歌における人名表現の傾向(駒木敏) 人麻呂歌集七夕歌の呼称と意義(菊川恵三) 人麻呂の表記の陽と陰(工藤力男), ほか
- 32 万葉韻律考〈研究叢書148〉(高田昇) 和泉書院 1994-3 A5 4,360p
[既発表論文集。語彙関係2編, 文法関係3編, 韻律関係10編ほか。]
- 33 鎌倉時代語研究17 (鎌倉時代語研究会編)
武蔵野書院 1994-5 A5 329p 11000円
名語記の口頭語について(小林芳規) 和化漢文に於ける形式名詞の新生と分化について(鈴

文 献・刊行図書一覧 (T34~37)

木恵) 天理本『日本往生極楽記』の訓法に就いて 文章の性格から観た和化漢文訓点資料の訓法に関する一考察 (宇都宮啓吾) 平安・鎌倉時代における「現ス」「アラハス」「アラハル」についての一考察 (柚木靖史) 和漢混淆文における「ケハシ」「サガシ」の意味用法について 類義語の意味関係変化の一類型として (土居裕美子) 『西方指南抄』『三帖和讃』における親鸞聖人の漢字字体の特徴について 部首に注目して (藤田夏紀) 恵信尼写『仮名書き無量寿経』翻刻並びに対照本文漢字索引稿 (佐々木勇; 比治山女子短期大学日本語史研究会) 前田育徳会尊経閣文庫蔵『日本往生極楽記』解説並びに影印 (宇都宮啓吾) 東大寺図書館蔵『行事鈔抄出上二三』解題並びに影印 (石井行雄)

- 34 * 高山寺典籍文書総合調査団研究報告論集 平成 5年度 (高山寺典籍文書総合調査団編) 1994-3 B5 193p

- 35 国語論究 5 中世語の研究 (佐藤喜代治編)

明治書院 1994-12 A5 528p 15000円

「吾妻鏡」の言語に関する諸問題 (峰岸明) 「出合(いであい)」アクセント史論 (桜井茂治) 「正徹本徒然草」の和語のかなづかい (小野正弘) 「花園天皇宸記」の敬語表現 (西田直敏) 私説抄物研究史 (寿岳章子) 狂言における「妻」の呼称の変遷 尊敬の表現を中心に (峰谷清人) 固定期狂言台本におけるゴザリマスル (小林賢次) 中世語としての副詞「かまへて」 (坂詰力治) 中世後期・近世における「強調」の「動詞+ニ+動詞」型 ϕ 型と「ヒター」「大(オオ)ー」等 (近藤明) 「黄なり」から「黄色い」へ (佐藤武義) 唐話学の夜明け前 唐話辞書『語録解義』のテキストとその性格 (村上雅孝) 意志動詞の無意志的用法 あわせて使役表現のいわゆる許容・放任・随順用法について (柳田征司) [資料複製] 恵命院宣守「海人藻芥」(元禄7年板本) (峰谷清人) 付「海人藻芥」元禄7年板本と群書類従板本との校異一覽 (矢野郁子)

- 36 中世のことばと資料 (小林千草) 武蔵野書院 1994-11 A5 11,492p 13500円
[既発表論文をまとめたもの]

1. 中世のことば 第1章 近代語の文法 鎌倉室町時代語 第2章 中世口語における原因・理由を表わす条件句 第3章 サカイのゆくえ 近世上方語におけるサカイとその周辺 第4章 天草版「金句集」の「心」におけるゾ終止文の性格 「抄物」におけるゾ終止文との比較から 第5章 キリシタン宗教書におけるゾ終止文の性格とその文章史的系譜をめぐって(1) 会話文末・対話文末・引用文末などの場合 第6章 キリシタン宗教書におけるゾ終止文の性格とその文章史的系譜をめぐって(2) 地の文・最終文末の場合 第7章 キリシタン口語文献の終助詞ゾ 第8章 終助詞ゾと敬意表現 虎明本狂言を中心に 第9章 文章研究の歴史と現在 通過点としての中世
2. 中世のことばと資料 第1章 「燈前夜話」考 第2章 「神書聞座」と「氏澄写本」 文明13年吉田兼俱講の実態と用語 第3章 聞書の漢語片仮名表記とその背景 第4章 天草版「金句集」の「心」と「抄物」 注釈(訳出)方法の相違をめぐって 第5章 ハビアン著「妙貞問答」に関する一考察 依拠・関連資料をめぐって 第6章 ハビアン著「妙貞問答」法相宗之事と「法相二巻抄」 第7章 書評 中村啓信著「信西日本紀抄とその研究」

- 37 天草版平家物語の語彙と語法 <笠間叢書267> (江口正弘)

笠間書院 1994-5 A5 351p 12000円

序章 国語学資料として 語彙編 第1章 語彙の計量的考察と大野法則 第2章 語彙の品詞別考察 第3章 覚一本語彙との比較 語法編 第1章 動詞の連体形の終止形化について 第2章

動詞の音便形について 第3章 形容詞について 第4章 形容動詞について 第5章 助動詞について 第6章 係助詞「こそ」について 係り結び崩壊の視点から 第7章 副助詞「だに」「さへ」について 覚一本及び原規本との比較をとおして 第8章 仮定法の考察 「未然形+ば」の用法を中心に 第9章 助詞概説

38 キリシタン文献の国語学的研究 (小島幸枝)

武蔵野書院 1994-1 A5 10,518p 15000円

[著者の既発表論文集。総論(p.1-52)は書き下ろし。]

総論 1.キリシタン文献 2.キリシタン版の時期区分 3.研究史概観 4.近年の国語学的研究動向 第1部 宗教書の研究 1.「スピリツアル修行」 2.キリシタン版宗教書の用語 第2部 不干ハビアン著作 文体と用語 1.「天草版平家物語」 2.「妙貞問答」成立の一側面 3.「破提字子」 第3部 ドミニコ会版の研究 1.潜伏キリシタンとドミニコ会 マニラ版「ロザリヨの経」の背景 2.コリヤードの日本語研究 第4部 中国関係資料 1.新出資料マニラ版ドチリナキリシタン二種(1593年刊)について ドミニコ会の布教姿勢との関連において 2.漢訳ドチリナの音訳語について 邦訳ドチリナに於ける本語との関係から 第5部 資料管見 1.「武功夜話」の文献学的管見 2.「落葉集」解説から 3.「耶蘇」という宛字について 付録 キリシタン関係研究文献目録

39 江戸語・東京語・標準語〈講談社現代新書〉(水原明人)

講談社 1994-8 B40 230p 650円

1.江戸ことばとは何か? 2.江戸ことばから東京語へ 3.東京ことばと標準語 4.標準語の普及とラジオ放送 5.変わりゆく東京語と標準語

40 「琉球・呂宋漂海録」の研究 200年前の琉球・呂宋の民俗・言語(多和田真一郎)

武蔵野書院 1994-6 A5 247p 13000円

1.解題および資料 2.本文影印 3.本文翻刻 4.「漂海始末」「風俗」「宮室」「衣服」「海舶」「土産」の訓み下し文 5.「漂海始末」「風俗」「宮室」「衣服」「海舶」「土産」の現代日本語訳及び注釈・解説 6.「言語」の翻字(転写) 7.「言語」「琉球」語の解説 8.「言語」「呂宋」語 9.「言語」「琉球」語の分析 10.「言語」「琉球」語索引

41 *日本語に及ぼしたオランダ語の影響 2版(斎藤静)

篠崎書林 1994-5 A5 293p 16000円

42 近世辞書論攷 早引・往来・会玉篇(関場武)

慶応義塾大学言語文化研究所 1994-3 A5 362p

1.明治少年節用・少女節用 2.子供節用・寺子節用集 3.宝暦新撰,増補改正,早引節用集 4.明和新編早引大節用集 二行節用から早引へ 5.「大全早引節用集」「大全早字引」 6.「手紙早引節用集」「用文早引節用集」 7.「門引節用万宝蔵」「早引文字通」「木の葉籠」「四民童子字尽安見」とその改題・改編本 8.字林節用五岳篇 9.毛利貞斎編「増続大広益会玉篇大全」

43 *近代日本語 歴史的所産としての言語〈精選復刻紀伊国屋新書〉(杉本つとむ)

紀伊国屋書店 1994-1 B6 242p 1800円

◇日本語系統論

44 日本語の起源〈岩波新書340〉 新版(大野晋)

岩波書店 1994-6 B40 7,251,20p 650円

[旧版(1957.9月刊)]

文 献・刊行図書一覧 (T45~47)

1. 同系語の存在 2. 対応語と物の世界 3. 対応語と精神の世界 4. 南インドの言語・文明と日本・朝鮮 付・日本語とタミル語の対応語一覧

- 45 * 日本語の語源 海を渡ってやって来た日本語〈ゴールデン教養セミナー〉(川崎真治) 風濤社 1994-10 B6 275p 2000円
- 46 * 日本語の真相〈文春文庫〉(李寧熙) 文芸春秋 1994-6 A6 315p 500円
- 47 * 日本語の先史時代(村中重雄) 近代文芸社 1994-12 B6 229p 2700円